

(様式第9)

佐大医経第428号
平成21年10月1日

厚生労働大臣 殿

(開設者) 国立大学法人佐賀大
学長 佛淵 孝

佐賀大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成20年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	78.25人
--------	--------

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非 常 勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数	
医 師	254人	96人	330.8人	看護業務補助	18人	診療エックス線技師	0人	
歯科医師	15人	4人	18.2人	理学療法士	8人	臨床検査 臨 床 検 査	臨床検査技師	25人
薬 剤 師	27人	0人	27.0人	作業療法士	4人		衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	2人		そ の 他	0人
助 産 師	18人	1人	18.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人	
看 護 師	482人	12人	489.5人	臨床工学技士	6人	医療社会事業従事者	4人	
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	0人	その他の技術員	8人	
歯科衛生士	0人	1人	0.3人	歯科技工士	1人	事 務 職 員	111人	
管理栄養士	5人	0人	5.0人	診療放射線技師	22人	そ の 他 の 職 員	22人	

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	483.8人	12.6人	496.4人
1日当たり平均外来患者数	726.0人	53.8人	779.8人
1日当たり平均調剤数	710.3剤		

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・無	9人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・無	1人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第VII因子欠乏症、先天性アンチトロンビンIII欠乏症、先天性ヘパリンコファクターII欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージ又はIIの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類III度又は同分類IV度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞踏病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癒着その他の重症の癒着性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	5人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input type="radio"/> 無	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術(インスリノーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、膵管内腫瘍その他の膵良性腫瘍に係る膵体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードVの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のも(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(重篤な虚血性心疾患又は脳血管障害を有するものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はパージャージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオクシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテナーメドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時)に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍搔爬術後若しくは骨髄炎搔爬術後の症状に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がん)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類Ib期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第百七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。))	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齶蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上が不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(胸部悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(腎悪性腫瘍(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	57人	・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	85人
・多発性硬化症	49人	・ウェグナー肉芽腫症	6人
・重症筋無力症	68人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	39人
・全身性エリテマトーデス	208人	・多系統萎縮症	12人
・ズモン	1人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人
・再生不良性貧血	26人	・膿疱性乾癬	6人
・サルコイドーシス	32人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・筋萎縮性側索硬化症	10人	・原発性胆汁性肝硬変	16人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	147人	・重症急性膵炎	5人
・特発性血小板減少性紫斑病	65人	・特発性大腿骨頭壊死症	324人
・結節性動脈周囲炎	19人	・混合性結合組織病	30人
・潰瘍性大腸炎	87人	・原発性免疫不全症候群	4人
・大動脈炎症候群	14人	・特発性間質性肺炎	5人
・ビュルガー病	11人	・網膜色素変性症	14人
・天疱瘡	8人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	31人	・原発性肺高血圧症	5人
・クローン病	28人	・神経線維腫症	8人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・亜急性硬化性全脳炎	2人
・悪性関節リウマチ	6人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・パーキンソン病関連疾患	105人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	2人
・アミロイドーシス	7人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	1人
・後縦靭帯骨化症	11人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人	・先天性血液凝固因子障害	15人

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に3回程度		
剖検の状況	剖検症例数	44例	剖検率 12.8%

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究代表者氏名	所属	受入(円)	補助元又は委託元
複合性局所疼痛症候群(CRPS)の病態と治療に関する基礎的・臨床的研究	平川 奈緒美	麻酔科蘇生科	650,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
膠原病患者のストレス不応性についての基礎的研究およびストレスマネジメント介入効果	大田 明英	膠原病・リウマチ内科	1,430,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
心不全の新規治療法の開発	野出 孝一	循環器内科	1,950,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
ATLの発症、進展におけるDNA修復阻害因子hnRNP B1の作用と治療への応用	末岡 榮三朗	血液内科	1,690,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
自己免疫疾患における自己抗体産生RP105陰性B細胞を標的とした治療法の開発	小荒田 秀一	膠原病・リウマチ内科	1,690,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
TLR4シグナルを介した気管支喘息抑制における分子機構の解析	太田 昭一郎	病理部	2,210,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
伊万里市黒川町における老化に関する長期縦断疫学研究	山田 茂人	精神神経科	1,820,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
虚血性僧帽弁逆流の発生原因の解明と外科治療への応用ー心臓内視鏡による検討ー	古川 浩二郎	心臓血管外科	1,560,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
尿細管上皮の増殖、構造・機能分化に与える脂肪組織の影響の解析および再生機構の解明	魚住 二郎	泌尿器科	1,690,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
子宮頸癌発癌過程とエピジェネティクスの変化:癌化予測および治療への応用	岩坂 剛	産科婦人科	1,040,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
有明海における細菌感染防止のための抗体検査法確立	荒木 和邦	手術部	1,040,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
骨粗鬆症モデル動物におけるシタチンCの骨形成促進効果の解析	植上 敦	歯科口腔外科	1,690,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
大腸癌発生に対する各種脂質の影響及びその修飾因子に関する検討	岩切 龍一	光学医療診療部	1,820,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
アレルギー疾患の病態形成に関与する新規エフェクター分子の機能解析	出原 賢治	検査部	1,820,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌による院内肺炎の診断と抗菌薬治療開始閾値に関する研究	青木 洋介	感染制御部	650,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
感染による乳児喘息発症のメカニズム:病原微生物に対する免疫反応不良との関連	在津 正文	小児科	1,430,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
分子イメージングによるプロテオミクス解析の消化器癌個別化治療への応用	宮崎 耕治	病院長(一般・消化器外科)	2,990,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
降癌のジエムシタピン効果を増強させるMMKY-01の基礎的研究	北島 吉彦	一般・消化器外科	3,510,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
喉頭癌由来癌幹細胞の生存・増殖・分化・遊走における間質細胞の役割とその制御機構	戸田 修二	病理部	2,080,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
網膜血管リモデリングにおける酵素学的硝子体融解法の効果に関する研究	平田 憲	眼科	1,820,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
摂食行動に関連する中枢神経系の小腸粘膜のアポトーシス・増殖に及ぼす影響	藤本 一真	消化器内科	1,300,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
ピブリオ・バルニフィカス感染症に対する早期診断法の確立と臨床的有用性の検証	中島 幹夫	麻酔科蘇生科	1,560,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
酸素ラジカルを用いた歯科用小型低温滅菌装置の開発	後藤 昌昭	歯科口腔外科	1,000,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
客観的指標に基づく効率的、個別的うつ病治療戦略の構築	植木 裕司	精神神経科	1,040,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
Adipocytokineによる皮膚有棘細胞癌の分化誘導療法	井上 卓也	皮膚科	1,170,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
降癌治療における癌抑制遺伝子ASCの役割	大塚 隆生	一般・消化器外科	1,170,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
骨髄幹細胞(前駆脂肪細胞)の前立腺癌への影響:シグナル伝達の網羅的解析	佐藤 勇司	泌尿器科	1,170,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
癌関連抗原Melkの免疫学的検討	門司 幹男	耳鼻咽喉科	780,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
扁桃に存在するヘリコバクター・ピロリの培養可能性の検討とIgA腎症発症との関連	草野 謙一郎	耳鼻咽喉科	2,470,000	補 文部科学省 科学研究費補助金
臨床研修における標準的EBM教育カリキュラムの普及と評価に関する研究	小泉俊三	総合診療部	9,500,000	補 厚生労働省 科学研究費補助金
進行・再発子宮頸がんに対する標準的治療体系の確立に関する研究	岩坂 剛	産科婦人科	600,000	補 厚生労働省 科学研究費補助金(分担)
アトピー性皮膚炎のかゆみの解明と治療の標準化に関する研究	浜崎 雄平	小児科	2,000,000	補 厚生労働省 科学研究費補助金(分担)
スモンに関する調査研究(佐賀県在住スモン患者の実態調査)	雪竹 基弘	神経内科	700,000	補 厚生労働省 科学研究費補助金(分担)
進行頭頸部癌に対する漢方治療の有用性評価	井之口 昭	耳鼻咽喉科	1,000,000	補 厚生労働省 科学研究費補助金(分担)

研究課題名	研究代表者 氏名	所属	受入(円)	補助元又は委託元
特発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目的とした総合研究	長澤 浩平	膠原病・リウマチ内科	800,000	補 厚生労働省 科学研究費補助金(分担)
糖尿病冠動脈疾患患者における、積極的脂質低下療法、降圧療法に関する臨床試験計画作成	野出 孝一	循環器内科	650,000	補 厚生労働省 科学研究費補助金(分担)
特発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目的とした総合研究	佛淵 孝夫	整形外科	700,000	補 厚生労働省 科学研究費補助金(分担)

計 62,190,000 円

2 論文発表等の実績

論文発表等の実績

1 ページ

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 診 療 科 等
Clin Exp Rheumatol 26:5-12, 2008.	Increase of RP105-lacking activated B cells in the peripheral blood and salivary glands in patients with Sjogren's syndrome.	Kikuchi Y	膠原病リウマチ内科
Arthritis Res Ther 10:R121, 2008.	Toll-like receptor homolog RP105 modulates the antigen-presenting cell function and regulates the development of collagen-induced arthritis.	Tada Y	膠原病リウマチ内科
Am J Med Sci 336:77-80, 2008.	Nocardiosis in adult-onset Still's disease and vasculitis syndrome.	Tada Y	膠原病リウマチ内科
九州リウマチ 2:135-139, 2008.	不明熱で発症した特発性間質性腎炎の1例.	多良明子	膠原病リウマチ内科
Mod Rheumatol 19: 57-63, 2009.	Cyclosporin A treatment for Japanese patients with adult-onset Still's disease.	Mitamura M	膠原病リウマチ内科
Mod Rheumatol 19: 173-179, 2009.	Effect of disease activity and corticosteroids on serum levels of soluble endothelial cell protein C receptor in patients with systemic lupus erythematosus.	Koarada S	膠原病リウマチ内科
Med Mycol. 46:361-365, 2008.	Disseminated infection by Bipolaris spicifera in an immunocompetent subject.	Kobayashi H	呼吸器内科
Cancer Sci. 99:1180-1187, 2008.	Exon 19 of EGFR mutation in relation to the CA-repeat polymorphism in intron 1.	Sueoka-Aragane N	呼吸器内科
J Neurovirol. 14 (2) :130-135, 2008.	Significantly increased antibody response to heterogeneous nuclear ribonucleoproteins in cerebrospinal fluid of multiple sclerosis patients but not in patients with human T-lymphotropic virus type I-associated myelopathy/tropical spastic paraparesis.	Yukitake M	神経内科
Intern Med. 47 (21) : 1881-1886, 2008.	Incidence and clinical significances of human T-cell lymphotropic virus type I-associated myelopathy with T2 hyperintensity on spinal magnetic resonance images.	Yukitake M	神経内科
Stroke 39 (12) :3323-3328, 2008.	Brain microbleeds and global cognitive function in adults without neurological disorder.	Yakushiji Y	神経内科
小 計	11 件		

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 診 療 科 等
J Ultrasound Med. 28 (2) :253-258, 2009.	Sonographic findings of a new homozygous frameshift insertion mutation in the SIL1 gene in 3 Japanese patients with Marinesco-Sjogren syndrome.	Yakushiji Y	神経内科
脳卒中. 31:74-78, 2009.	佐賀県中部地区における脳梗塞超急性期診療施設の rt-PA 治療圏の検討—佐賀県の rt-PA 治療圏—.	南里悠介	神経内科
Int J Cardiol. 130 (1) :19-22, 2008.	Prognostic value of pentraxin 3 in patients with chronic heart failure.	Kotooka N	循環器内科
Int J Cardiol. 130:e86-e88, 2008.	Fracture of a sirolimus-eluting stent with migration.	Kamura A	循環器内科
Atherosclerosis. 201 (2) :385-391, 2008.	Lipocalin-type prostaglandin D synthase is a powerful biomarker for severity of stable coronary artery disease.	Inoue T	循環器内科
J Neurosci. 28 (18) :4619-4623, 2008.	Mitogen-activated protein kinase is a functional component of the autonomous circadian system in the suprachiasmatic nucleus.	Akashi M	循環器内科
Expert Opin Pharmacother. 9 (8) : 1397-1406, 2008.	Telmisartan as a metabolic sartan for targeting vascular failure.	Inoue T	循環器内科
Life Sci. 83:339-345, 2008.	Expression of the cytochrome P450 epoxygenase CYP2J2 in human monocytic leukocytes.	Nakayama K	循環器内科
Hypertens Res. 31 (6) :1257-1267, 2008.	Angiotensin II increases expression of IP-10 and the renin-angiotensin system in endothelial cells.	Ide N	循環器内科
Gene. 426 (1) :57-64, 2008.	Alternative spliced variants in the pantetheinase family of genes expressed in human neutrophils.	Nitto T	循環器内科
J Cardiol. 52 (2) :127-132, 2008.	Tropical fruit camu-camu (<i>Myrciaria dubia</i>) has anti-oxidative and anti-inflammatory properties.	Inoue T	循環器内科
J Cardiol. 52 (3) :247-253, 2008.	Associations of monocytes, neutrophil count, and C-reactive protein with maximal oxygen uptake in overweight women.	Michishita R	循環器内科
Hypertens Res. 31 (12) :2105-2113, 2008.	Flow-mediated vasodilation as a diagnostic modality for vascular failure.	Inoue T	循環器内科
小 計	13 件		

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 診 療 科 等
Diabetes Res Clin Pract. 83 (1) 2:77-82, 2009	Effect of insulin-unstimulated diabetic therapy with miglitol on serum cystatin C level and its clinical significance.	Yokoyama H	循環器内科
Cardiovasc Diabetol. 28;8 : 5 2009	Long-term effect of peroxisome proliferators-activated receptor ligand bezafibrate on N-terminal pro-B type natriuretic peptide in patients with advanced functional capacity impairment.	Node K	循環器内科
日本臨床. 66 (9) : 1741-1745, 2008	CVD の発症阻止.	波津久 愛	循環器内科
Ther apher dial. 12 (1) : 96-99, 2008.	Partial blood recirculation:a new trial for prolonging filter life during continuous hemodiafiltration.	Ikeda Y	腎臓内科
Ther apher dial. 12 (4) : 263-344, 2008.	A case report of nephrotic syndrome due to collapsing focal segmental glomerulosclerosis treated with low-density lipoprotein apheresis.	Miyazono M	腎臓内科
J cardiovasc pharmacol. 51 (3) : 267-273, 2008.	Simvastatin stimulates vascular endothelial growth factor production by hypoxia-inducible factor-1 α upregulation in endothelial cells.	Nishimoto-Hazuku A	腎臓内科
Clin nephrol. 69 (2) : 107, 2008.	Reversible primary hypothyroidism in japanese patients undergoing maintenance hemodialysis.	Sanai T	腎臓内科
透析会誌. 41 (6) : 389-393, 2008.	下腿 percutaneous transluminal angioplasty (PTA) により下肢切断範囲を縮小できた peripheral arterial disease (PAD), 糖尿病性壊疽の一例.	高島 毅	腎臓内科
Int Urol Nephrol 41 (1) : 179-183, 2009	Successful steroid treatment in a patient with membranoproliferative glomerulonephritis associated with hepatitis C virus	Sanai T	腎臓内科
Ther Apher Dial. 12 (4) : 333-336, 2008.	A case report of nephrotic syndrome due to collapsing focal segmental glomerulosclerosis treated with low-density lipoprotein apheresis.	Miyazono M	腎臓内科
J Gastroenterol Hepatol. 23:1063-1068, 2008.	Does magnifying endoscopy improve the diagnosis of erosive esophagitis?	Iwakiri R	消化器内科
Intern Med. 47:1551-1553, 2008.	Importance of vertebral fracture and body mass index on the pathogenesis of gastroesophageal reflux disease.	Iwakiri R	消化器内科
小 計	12 件		

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 診 療 科 等
Dis Dig Sci. 53:3082-3094, 2008.	It is possible to classify non-erosive reflux disease (NERD) patients into endoscopically normal groups and minimal change groups by subjective symptoms and responsiveness to rabeprazole, a report from a study with Japanese patients.	Yamaguchi K	消化器内科
Eur J Gastroenterol Hepatol. 20:629-633, 2008.	Comparison of the efficacy of granulocyte and monocyte/macrophage apheresis and leukocytapheresis in active ulcerative colitis patients: a prospective randomized study.	Sakata Y	消化器内科
Clin J Gastroenterol. 1:18-22, 2008.	A case of advanced colonic cancer that developed from residual laterally spreading tumor treated by piecemeal endoscopic mucosal resection.	Tsunada S	消化器内科
Gastrointest Endosc. 67:979-983, 2008.	Case series of endoscopic balloon dilatation to treat stricture caused by circumferential resection of the gastric antrum by endoscopic submucosal dissection.	Tsunada S	消化器内科
Intern Med. 47:1555-1559, 2008.	Reflux esophagitis and Helicobacter pylori infection in patients with scleroderma.	Yamaguchi K	消化器内科
J Gastroenterol. 44:261-270, 2009.	Comparison of the effects of omeprazole and famotidine in treatment of upper abdominal symptoms in patients with reflux esophagitis.	Fujimoto K	消化器内科
Gastroenterol. Hepatol. 24:633-638, 2009.	Comparison of endoscopic findings with symptom assessment systems (FSSG and QUEST) for gastroesophageal reflux disease in Japanese centres.	Yamaguchi K	消化器内科
Dig. Endosc. 21:20-23, 2009.	Endoscopic hemostasis with metallic hemoclips for iatrogenic Mallory-Weiss tear caused by Endoscopic Examination.	Shimoda R	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol. 23:908-913, 2008.	Waist circumference correlates with hepatic fat accumulation in male Japanese patients with non-alcoholic fatty liver disease, but not in females.	Ishibashi E	肝臓・糖尿病 ・内分泌内科
薬理と治療. 36: suppl 235-237, 2008.	臍部 CT における多裂筋 CT 値は非アルコール性脂肪性肝疾患における食事・運動療法の効果を反映するか。	北島陽一郎	肝臓・糖尿病 ・内分泌内科
小 計	10 件		

雑誌名	題名	発表者氏名	所属診療科等
肝臓. 49 (10) :483-434, 2008.	抗ウイルス治療中の B 型慢性肝炎における血中 HBV-DNA の評価～コバス TaqMan HBV 「オート」による検討.	中下俊哉	肝臓・糖尿病 ・内分泌内科
肝臓. 49 (11) :506-511, 2008.	肝生検後 35 年経過して発症し経カテーテル的肝動脈塞栓術によって門脈圧亢進が著明に改善した肝内動門脈瘻の 1 例.	大座紀子	肝臓・糖尿病 ・内分泌内科
医学と薬学. 60 (1) :66-68, 2008.	高齢者肝細胞癌に対するラジオ波焼灼術の妥当性.	高橋宏和	肝臓・糖尿病 ・内分泌内科
J Gastroenterol. 43:265-269, 2008.	Bleeding and stenosis caused by reflux esophagitis was not common in emergency endoscopic examinations: a retrospective patient chart review at a single institution in Japan.	Yamaguchi M	肝臓・糖尿病 ・内分泌内科
Diabetes Research and Clinical Practice. 80:416-423, 2008.	Impaired peripheral circulation in lower-leg arteries caused by higher arterial stiffness and greater vascular resistance associates with nephropathy in type 2 diabetic patients with normal ankle-brachial indices.	Yoshimura I	肝臓・糖尿病 ・内分泌内科
Internal Medicine. 48: 25-32, 2009.	Improved cardio-respiratory fitness correlates with changes in the number and size of small dense LDL: randomized controlled trial with exercise training and dietary instruction.	Kawano M	肝臓・糖尿病 ・内分泌内科
Liver International. 29:213-220, 2009.	Hepatitis C virus infection enhances insulin resistance induced by visceral fat accumulation.	Eguchi Y	肝臓・糖尿病 ・内分泌内科
肥満と糖尿病. 8: 345-347, 2009.	肥満と C 型肝炎の予後は?	水田敏彦	肝臓・糖尿病 ・内分泌内科
肝臓 50:122-131, 2009.	佐賀県における C 型肝炎ウイルス抗体陽性者の推移:1992 年から 2006 年までの肝検診の結果と今後の動向予測	尾崎岩太	肝臓・糖尿病 ・内分泌内科
JEADV2008. 22:235-262, 2008.	Superficial acral fibromyxoma on the tip of the big toe : expression of CD10 and nestin.	Misago N	皮膚科
Cancer Science. 99 (7) :1341-1347, 2008.	Induction of hepatocyte growth factor activator gene expression under hypoxia activates the hepatocyte growth factor/c-Met system via hypoxia inducible factor-1 in pancreatic cancer.	Kitajima Y	一般・消化器外科
Surgery Frontier. 15 (3) :304-306, 2008.	What' s New in SURGERY FRONTIER 炎症と発癌④HIF-1 α .	北島吉彦	一般・消化器外科
小 計	12 件		

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所属診療科等
日本腹部救急医学会誌. 28 (5) : 649-654, 2008.	術後壊死性筋膜炎症例の検討.	三好 篤	一般・消化器外科
Molecular Medicine Reports. 1:925-930, 2008.	Phase I/II study of combination therapy with S-1 and CPT-11 for metastatic colorectal cancer.	Nakafusa Y	一般・消化器外科
Oncology Reports. 20:279-286, 2008.	Ribonucleotide reductase subunit M1 is a possible chemoresistance marker to gemcitabine in biliary tract carcinoma.	Ohtaka K	一般・消化器外科
消化器外科. 31 (13) : 2005-2014, 2008.	胆道再建術.	大塚隆生	一般・消化器外科
Surgery Frontier. 15 (3) : 264-270, 2008.	どこまで切除するか--両・悪性境界型腫瘍性 病変--「胆管腫瘍」 Biliary neoplasm.	大塚隆生	一般・消化器外科
Dig Dis Sci. 53:73-79, 2008.	False positive findings for tumor markers after curative gastrectomy for gastric cancer.	Ohtsuka T	一般・消化器外科
Molecular Medicine Reports. 1:827-831, 2008.	Role of ASC in hypoxia-mediated cell death in pancreatic cancer.	Ohtsuka T	一般・消化器外科
Dig Dis Sci. 53:1537-1543, 2008.	Different roles of tumor marker monitoring after curative resections of gastric and colorectal cancer.	Ohtsuka T	一般・消化器外科
膝臓. 23:691-696, 2008.	膝内分泌腫瘍の診断と内科的治療	大塚隆生	一般・消化器外科
日本臨床外科学会雑誌. 70:62-65, 2009.	耐糖能障害とともに CEA 値が推移した胃癌術 後腫瘍マーカー偽陽性の 1 例.	大塚隆生	一般・消化器外科
日本大腸肛門病学会雑誌. 62:147-153, 2009.	転移性大腸癌に対する S-1/CPT-11 併用療 法：生存期間に関与する因子.	中房祐司	一般・消化器外科
日本臨床外科学会雑誌. 70 (1) : 34-38, 2009.	嚢胞内乳頭癌の形態を示した乳腺 neuroendocrine ductal carcinoma in situ の 1 例.	中房祐司	一般・消化器外科
Gen. Thorac. Cardiovasc. S urg. 56 (12) : 584-588, 2008.	Surgical strategy for impending rupture of an infected anastomotic pseudoaneurysm of the aorta 9 years after a Bentall procedure: radical surgery involving en bloc resection of the infected sternum, pseudoaneurysm, and artificial vascular graft.	Katayama Y	心臓血管外科
小 計	13 件		

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 診 療 科 等
Ann. Thorac. Surg. 86 (2) :448-451, 2008.	Transcranial Doppler study to assess intracranial arterial communication before aortic arch operation.	Morita S	心臓血管外科
Arch Pathol Lab Med. 132 (2) :239-243, 2008.	Analysis of expression patterns of breast cancer-specific markers (mammaglobin and gross cystic disease fluid protein 15) in lung and pleural tumors.	Takeda Y	心臓血管外科
Journal of Neurosurgery. 109:497-501, 2008.	Intracranial pial single channel arteriovenous fistula presenting with significant brain edema.	Masuoka J	脳神経外科
Surgical Neurology. 69:530-533, 2008.	Adjacent epidermoid cyst and primary central nervous lymphoma	Masuoka J	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル. 17 (10) :761-772, 2008.	Petroclival Region Tumor の手術と静脈.	松島俊夫	脳神経外科
脳神経外科ジャーナル. 17 (10) :754-760, 2008.	微小外科解剖に基づいた三叉神経痛の手術-特に Infratentorial Lateral Supracerebellar Approach と錐体静脈の処理について-	峯田寿裕	脳神経外科
関節外科. 27 (11) :80-84, 2008.	Coxitis Knee の検討-TKA への移行要因-	井手衆哉	整形外科
Journal of Orthopaedic Science. 13:269-272, 2008.	A Neonate with calcinosis cutis following extravasation of calcium gluconate.	Sonohata M	整形外科
日本足の外科学会雑誌. 29 (2) :10-14, 2008.	歩行時立脚期後半における前・中足部の回内・回外について.	本岡 勉	整形外科
日本人工関節学会誌. 38:558-559, 2008.	人工股関節全置換術後の歩行回復過程の検討.	重松正森	整形外科
整形外科と災害外科. 57 (2) :177-181, 2008.	人工股関節全置換術後の歩行回復過程の検討 (Walking Ability following Total Hip Arthroplasty: A Comparison of Gait Analysis in Unilateral and Bilateral Cases) (英語).	重松正森	整形外科
日本人工関節学会誌. 38:142-143, 2008.	転子下骨切り併用人工股関節全置換術における骨切り部偽関節症例の検討.	園畑素樹	整形外科
日本人工関節学会誌. 38:286-287, 2008.	高位脱臼股 (Crowe IV) に対する人工股関節置換術における脚延長の予測.	徳重厚典	整形外科
小 計	13 件		

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所属診療科等
日本人工関節学会誌. 38:432-433, 2008.	Nexgen CR 型人工膝関節置換術の術後成績.	上通一泰	整形外科
整形外科と災害外科 57 (7) : 381-384, 2008	内転位強直股に対する人工股関節全置換術 についての検討	徳重厚典	整形外科
Jpn J Endourol ESWL. 21:379-383, 2008.	マイクロ波組織凝固装置 (MTC) 腎部分切除後 の残存ネフロン量の変化.	川崎麻己	泌尿器科
日泌尿会誌. 100 (1) : 16-21. 2009.	精巣非セミノーマ加療後 14 年目に対側精巣 に発症した異時性セミノーマの 1 例.	川崎麻己	泌尿器科
西日泌尿. 71 : 70-72. 2009.	無症候特発性副腎出血の 1 例.	富山裕介	泌尿器科
泌尿器外科. 22 (2) : 197-198. 2009.	膀胱癌に対する BCG 膀胱注後に起きたと思 われる蓄尿障害についての検討.	中尾孝子	泌尿器科
透析会誌. 42 (3) : 265-269. 2009.	慢性腎不全患者に発症し、治療に難渋した尿 路上皮癌の 1 例	南里正之	泌尿器科
癬痕・ケロイドジャーナ ル. 2:2-5, 2008.	プロペラ型穿通枝皮弁 (Propeller flap) を用いたケロイド、癬痕に対する新しい再建 術式.	増本和之	形成外科
PEPARS. 21:1-5, 2008.	脂肪腫.	上村哲司	形成外科
MB Derma. 146:37-41, 2008.	増殖因子を用いた熱傷治療 (速度と質の改 善).	上村哲司	形成外科
形成外科. 51:119-123, 2008.	静脈性下腿潰瘍の治療.	上村哲司	形成外科
日形会誌. 28 (2) : 93-95, 2008.	先天性上嘴唇正中瘻の 1 症例.	増本和之	形成外科
治療. 2 (91) : 329-333, 2009.	重症虚血肢に伴う創傷.	上村哲司	形成外科
PEPARS. 26:35-40, 2009.	足, 下腿の難治性潰瘍に対する付加治療法.	上村哲司	形成外科
小 計	14 件		

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 診 療 科 等
Canecer science. 99:2417-2427, 2008.	Irradiated fibroblast-induced bystander effects on invasive growth of squamous cell carcinoma under cancer-stromal cell interaction.	Kamochi N	放射線科
J. Stroke. Cerebrovasc. Dis. 18(1):32-37, 2008.	Cognitive consequences of multiple lacunes and leukoaraiosis as vascular cognitive impairment in community-dwelling elderly individuals.	Uchino A	放射線科
AJNR Am. J. Neuroradiol. 29(4):688-693, 2008.	Perfusion Imaging of Brain Tumors Using Arterial Spin Labeling: Correlation with Histopathological Vascular Density.	Noguchi T	放射線科
Neuro Oncol. 10(4):560-568, 2008.	Primary central nervous system lymphoma in Japan: changes in clinical features, treatment, and prognosis during 1985-2004.	Tokumaru S	放射線科
The Neuroradiology J. 21:619-622, 2008.	Visualization of the superior ophthalmic veins by 3 tesla 3D-TOF-MR angiography.	Uchino A	放射線科
日本義肢装具学会誌. 24(2):81-86, 2008	乳癌治療における補綴具と補整具.	浅見豊子	リハビリテーション部
MB Med Rehan. 98:101-105, 2008.	腰痛に対する装具療法.	浅見豊子	リハビリテーション部
Journal of neurological sciences. 270:197-200, 2008	Identification of a new homozygous frameshift insertion mutation in the SIL1 gene in 3 Japanese patients with Marinesco-Sjogr リハビリテーション部 en syndrome.	Eriguchi M	リハビリテーション部
Psychiatry and Clinical Neurosciences. 62:562-567, 2008.	Relationship between saliva level of 3-methoxy-4-hydroxyphenylglycol and mental health in the elderly general population.	Yamada S	精神神経科
CLINICAL NEUROPHARMACOLOGY. 31(5):299-300, 2008.	A Case of Severe Parkinsonism Associated With Short-term Treatment With Milnacipran.	Yamada S	精神神経科
臨床精神薬理. 11(5):261-265, 2008.	抗うつ薬の中断症候群と攻撃性.	渡邊 至	精神神経科
日本小児アレルギー学会誌 22: 291-292, 2008.	吸入器および吸入補助具の表記法について.	濱崎雄平	小児科
アレルギーと神経ペプチド 4: 10, 2008.	鼻粘膜における神経ペプチド.	濱崎雄平	小児科
小 計	13 件		

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 診 療 科 等
日本小児呼吸器学会雑誌 19: 64-70, 2008.	小児における吸入療法の特徴と対応.	濱崎雄平	小児科
Biochemical Biophysical Research Communications. 376:234-240, 2008.	Enhanced CCL26 production by IL-4 through IFN- γ -induced upregulation of type 1 IL-4 receptor in keratinocytes.	Hamasaki Y	小児科
日本小児アレルギー学会 誌. 22:245-252, 2008.	気道上皮細胞におけるケモカイン産生を制 御する因子.	西 奈津子	小児科
Pediatric Nephrology. 23:2085-2090, 2008.	Detection of large deletion mutations in the COL4A5 gene of female Alport syndrome patients.	Ohtsuka Y	小児科
日本小児科学会雑誌. 112:852-857, 2008.	亜鉛単独療法が奏効した肝型 Wilson 病の 1 例.	田代克弥	小児科
日本小児循環器学会誌. 24:705-706, 2008.	左心低形成症候群の診断と治療へのアプ ローチ.	濱崎雄平	小児科
J Asthma. 44 (7) :565-568, 2008.	The development of asthma in wheezing infants with Chlamydia pneumoniae infection.	Zaitso M	小児科
ペインクリニック. 29 (11) :1459-1465, 2008.	超音波ガイド下神経ブロックの実際 1. 超音 波ガイド下星状神経節ブロック	平川奈緒美	麻酔科蘇生科
Journal of Cardiovascular Pharmacology. 51 (5) :476-482, 2008.	Sivelestat relaxes porcine coronary artery via inhibition of Ca ²⁺ sensitization induced by a receptor agonist.	Maeda Y	麻酔科蘇生科
化学療法の領域. 24 (6) :81-88, 2008.	バルニフィカス感染症の臨床と日本にお ける疫学	松本浩一	麻酔科蘇生科
慢性疼痛. 27 (1) :135-138, 2008.	当科におけるガバペンチン使用症例の検討	笹栗智子	麻酔科蘇生科
Lisa. 15 (7) :714-717, 2008.	特発性血小板減少性紫斑病:帝王切開術の麻 酔方法はできるかぎり区域麻酔で.	笹栗智子	麻酔科蘇生科
臨床麻酔. 32 (10) :1699-1700, 2008.	甲状腺全摘, 頭部郭清および気管切開術後に 感染性動脈瘤からの大量出血を認めた 1 症 例.	片山さつき	麻酔科蘇生科
ペインクリニック. 29 (12) :1580-1588, 2008.	“痛み”のスケール	平川奈緒美	麻酔科蘇生科
小 計	14 件		

雑誌名	題名	発表者氏名	所属診療科等
分娩と麻酔. 90:18-22, 2008.	HELLP 症候群の麻酔.	陣内伸子	麻酔科蘇生科
臨床麻酔. 32 (11):1793-1796, 2008.	直接的両心室ペーシングにより左室一大動脈圧較差が軽減した閉塞性肥大型心筋症の心筋切除および僧帽弁置換の1症例.	上村聡子	麻酔科蘇生科
ペインクリニック. 30 (2):229-241, 2009.	交感神経の解剖.	平川奈緒美	麻酔科蘇生科
臨床麻酔. 33 (2):181-184, 2009.	A 群β溶血性連鎖球菌毒素性ショック症候群の1症例.	三溝慎次	集中治療部
臨床麻酔. 33 (3):608-610, 2009.	Serratia Marcescens により右上肢両下肢の点滴刺入痕に生じた壊死性筋膜炎の1症例.	菊川奈々	集中治療部
OBSTETRICS&GYNECOLOGY. 111:505-507, 2008.	Uterine Artery Embolization Followed by Dilation and Curettage for Cervical Pregnancy.	Nakao Y	産科婦人科
第6回婦人科悪性腫瘍化学療法研究機構年次会議(総会)記録集. 69-72, 2008.	子宮頸がんの術後補助療法ー化学療法ー.	中尾佳史	産科婦人科
Gynecologic Oncology. 108:326-331, 2008.	Antiproliferative effects of the major tea polyphenol, (-) -epigallocatechin gallate and retinoic acid in cervical adenocarcinoma.	Yokoyama M	産科婦人科
眼臨紀. 1:529-534, 2008.	原田病の急性期における光干渉断層計(OCT)所見と治療効果	相馬実穂	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 246:1117-1122, 2008.	Fate mapping of neural crest cells during eye development using a protein 0 promotor-driven transgenic technique.	Iwao K	眼科
Jpn J Ophthalmol. 52:510-511, 2008.	Severe retinal atrophy due to retinal and choroidal vascular occlusion following triamcinolone injection into the nasal mucosa.	Hirata A	眼科
眼臨紀. 1:1195-1199, 2008.	心因性視覚障害の診断における両眼立体視検査の有用性	古賀一興	眼科
IOL & RS. 22:380-381, 2008.	前囊切開後の残存前囊が原因で術中チン小帯断裂を来した水晶体嚢真性落屑の1例	下村由起子	眼科
小計	13件		

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 診 療 科 等
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 246 (1) :51-59, 2008.	Y-27632, a Rho-associated protein kinaseinhibitor, attenuates neuronal cell death after transient retinal ischemia.	Hirata A	眼科
Retinal Cases and Brief Reports. 2 (3) :196-198, 2008.	Retinal tear located beneath the detached internal limiting membrane associated with ruptured macroaneurysm.	Hirata A	眼科
眼臨紀 2:232-236, 2009.	線維柱帯切除術後症例における Dynamic contour tonometry (DCT) の検討	石川慎一郎	眼科
J Pediatr Ophthalmol Strabismus 46:56-58, 2009.	Fluorescein and indocyanine green angiographic findings in progressive hemifacial atrophy.	Kawazoe M	眼科
Head&Neck. 30 (8) : 1058-1063, 2008.	Serum concentrations of laminin γ 2 fragments in patients with head and neck squamous cell carcinoma.	Kuratomi Y	耳鼻咽喉科
喉頭. 20:57-61, 2008.	喉頭内のリンパ管分布及び喉頭癌における ラミニン γ 2 鎖発現による検討.	門司幹男	耳鼻咽喉科
頭頸部外科. 18 (2) :181-186, 2008.	甲状腺分化型縦隔進展例の検討.	佐藤慎太郎	耳鼻咽喉科
喉頭. 20:86-92, 2008.	慢性逆流性食道炎モデルラットにおける咽喉頭の形態学的変化.	島津倫太郎	耳鼻咽喉科
Acta Otolaryngol. 18:1-7, 2008.	Histological changes of the pharynx and larynx in rats with chronic acid reflux esophagitis.	Shimazu R	耳鼻咽喉科
Acta Otolaryngol. 26:1-6, 2008	A zinc-containing compound, Polaprezinc, is effective for patients with taste disorders:randomized, double-blind, placebo-controlled, multicenter study.	Inokuchi A	耳鼻咽喉科
Cancer Sci. 100 (1) :132-137, 2009	Identification of the H2-Kd-restricted cytotoxic T lymphocyte epitopes of a tumor-associated antigen, SPARC, which can stimulate antitumor immunity without causing autoimmune disease in mice.	Monji M	耳鼻咽喉科
Virchows Arch. 454:181-188, 2009	Active neovascularization and possible vascular-centric development of gastric and periscapular elastofibromas.	Kusano K	耳鼻咽喉科
佐歯会報. 592:25-29, 2008.	学術ニュース:顎骨オトガイ孔間領域へのインプラント埋入時に生じた口底部出血に関して その1. 文献的考察と当科での症例.	重松正仁	歯科口腔外科
小 計	13 件		

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 診 療 科 等
佐歯会報. 594:12-15, 2008.	学術ニュース:顎骨オトガイ孔間領域へのインプラント埋入時に生じた口底部出血に関して その2. 文献から得られた解剖学的知識とその対策および注意点.	重松正仁	歯科口腔外科
Immunology Letters. 120:79-86, 2008.	Participation of intercellular adhesion molecule-2 (CD102) in B lymphopoiesis.	Yamashita Y	歯科口腔外科
Int J Oral Maxillofac Implants. 23:1143-1146, 2008.	Mandibular reconstruction using autologous iliac bone and titanium mesh reinforced by laser welding for implant placement.	Yamashita Y	歯科口腔外科
日本口蓋裂学会雑誌. 33:57-63, 2008.	3 Dimensional Computer Graphic (3DCG) software を利用した唇裂患者の顔面形態の表示法	山下佳雄	歯科口腔外科
頭頸部癌. 34:572-577, 2008.	三次元光造形頭蓋顔面樹脂模型を利用したチタンメッシュとインプラントによる下顎再建法	山下佳雄	歯科口腔外科
Med. Chem. 4:322-327, 2008.	Involvement of cysteine protease inhibitors in the defense mechanism against parasites.	Izuhara K	検査部
Cell. Mol. Life Sci. 65:2541-2553, 2008.	Recent progress in understanding the diversity of the human ov-serpin/clade B serpin family.	Izuhara K	検査部
Journal. compilation. 80:361-364, 2008.	Characterization of a patient with atypical amegakaryocytic thrombocytopenia.	Izuhara K	検査部
J. Immunol. 180:6262-6269, 2008.	Identification of pendrin as a common mediator for mucus production in bronchial asthma and chronic obstructive pulmonary disease.	Ohta S	検査部
Int. J. Hematol. 88:57-63, 2008.	Periostin and bone marrow fibrosis.	Izuhara K	検査部
Int. J. Hematol. 89:71-75, 2009.	Identification of four novel mutations in F5 associated with congenital factor V deficiency.	Izuhara K	検査部
J Infect Chemother. 14:238-243, 2008.	Susceptibility of clinical isolates of Pseudomonas aeruginosa in the Northern Kyushu district of Japan to carbapenem antibiotics, determined by an integrated concentration method: evaluation of method based on Monte Carlo simulation	Nagasawa Z	検査部
中毒研究. 21 (1) :85-92, 2008.	家庭用化学製品の急性中毒に関するトリアージアルゴリズム作成の試み.	奥村 徹	救命救急センター
小 計	13 件		